

## 1 牧之原市が目指す「望ましい環境像」

### うみ・そら・みどりと共生するまち まきのほら

緑豊かな牧之原大茶園や雄大な海岸線など、牧之原市民が思いうかべる“ふるさとの風、光、音色、香り”を守り、復元していくことで、潤いと安らぎに満ちた環境を創出、次世代へと継承できる、愛着と誇りの持てるふるさとづくりを進めていく気持ちが込められています。

## 2 牧之原市が目指す「望ましい環境像」の実現に向けた取組

### 基本目標 1 自然環境

詳細は  
本編 p.7

#### 里山・里地・里海と人をつなぐまち

自然環境や生物多様性の保全、人と自然とのふれあいの促進、景観・歴史文化などにも配慮した総合的な住み心地の良さの向上など、本市の財産である豊かな自然や風土を生かした、人と自然が共生するまちを目指します。

- 個別目標
- ① 里地・里山・里海を守る
  - ② 生きものを守り自然とふれあう
  - ③ 景観・歴史文化を大切にする

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R4	R4	R8
地域での清掃ボランティア活動の実施回数(回/年)	33	<b>42</b>	37	50
自然体験学習の実施(回/年)	69	<b>73</b>	76	80
自然環境の保全への取組に対する市民満足度(%)	36.8	<b>42.2</b>	40.6	43

#### 市民・事業者・滞在者の取組



- ・ 海岸美化活動に参加する
- ・ 生きものや自然とふれあう
- ・ 地域の資源を守る



### 基本目標 2 資源循環

詳細は  
本編 p.13

#### 資源を大切に作る心を育むまち

環境負荷の少ない持続可能な社会を実現するため、資源を有効活用し、豊かな環境の恵みを楽しむ「質」を重視した循環型社会を目指します。

- 個別目標
- ④ 4R でごみを減らす
  - ⑤ ごみを適正に処理する
  - ⑥ 不法投棄をなくす
  - ⑦ 水を大切にする

4R 拒否 減量 再利用 再資源化  
(Refuse) (Reduce) (Reuse) (Recycle)

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R4	R4	R8
市民1人1日当たりのごみ発生量 (g/人・日)	843	<b>839</b>	780	780
ごみのリサイクル率 (%)	27.8	<b>29.4</b>	32.4	34
ごみの収集・減量化や資源回収などの取組に対する市民満足度(%)	53.9	<b>57.6</b>	57.6	60

#### 市民・事業者・滞在者の取組



- ・ ごみ分別マナーを守る
- ・ 食品ロスを減らす
- ・ 節水する



### 基本目標 3 生活環境

詳細は  
本編 p.20

#### グリーン&グリーンを広めるまち

花と緑豊かな環境、美しい夜空・音色などの創出や、日常生活や事業活動から発生する大気や水の汚染、騒音・振動や悪臭などの問題をできる限り低減し、安全で安心して暮らせる快適で健康なまちを目指します。

- 個別目標
- ⑧ まちを花と緑で彩る
  - ⑨ 空気の爽やかなまちにする
  - ⑩ 美しい音色のまちにする
  - ⑪ きれいな水と土を未来に残す
  - ⑫ 安全・安心・清潔に暮らす

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R4	R4	R8
グリーンバンクによる花の種・球根配布団体数(団体)	184	<b>152</b>	191	170
生活雑排水処理率(%)	40.3	<b>55</b>	48.6	70
公害防止対策への取組に対する市民満足度(%)	46.3	<b>52.0</b>	49.6	52

#### 市民・事業者・滞在者の取組



- ・ 生垣や花壇の緑を増やす
- ・ 浄化槽の維持管理をする
- ・ 水を汚さない



### 基本目標 4 地球環境

詳細は  
本編 p.29

#### 地球のために行動するまち

地球温暖化防止を進めるため、地域社会を構成する各主体が身近なことで今できることを自ら推進し、全ての人が地球温暖化防止の活動に取り組むまちづくりを進めます。

- 個別目標
- ⑬ 温暖化対策を総合的に進める
  - ⑭ 再生可能エネルギーを使う
  - ⑮ エネルギーを大切に使う

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R4	R4	R8
家庭版環境マネジメント参加世帯数(世帯/年)	31	<b>112</b>	126	160
環境マネジメントシステム取得事業者総数(事業所)	51	<b>57</b>	62	70
再生可能エネルギーによる発電設備導入容量(MW)	75	<b>125</b>	84	169

#### 市民・事業者・滞在者の取組



- ・ 省エネルギー製品に買い換える
- ・ 再生可能エネルギーを導入する
- ・ 省エネルギーを実践する

冷房時 室温 28℃(目安)  
暖房時 室温 20℃(目安)



### 基本目標 5 環境教育

詳細は  
本編 p.33

#### 環境への想いをつなぎ育てるまち

環境に関する教育や情報の提供、実践活動を推進することで、みんなが環境のことを考え、自ら率先して行動・協働する持続可能な社会の実現を目指します。

- 個別目標
- ⑯ 環境について学ぶ
  - ⑰ 情報の発信や交流を活発にする

環境指標 (抜粋)	基準	現状	目標	
	H27	R4	R4	R8
環境教室の開催数(回/年)	21	<b>47</b>	32	40
環境リーダーの数(人)	8	<b>8</b>	12	20
環境キャンペーンへの参加者数(人)	584	<b>206</b>	720	400

#### 市民・事業者・滞在者の取組



- ・ 環境に関心を持つ
- ・ 観察会や講演会などに参加する
- ・ 環境情報を活用する



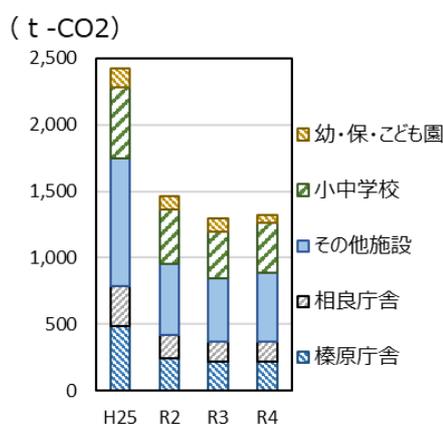
### 3 市役所の取組

牧之原市では、市役所での事務・事業の省エネ・省資源、廃棄物の減量化などに関わる取組を推進し、温室効果ガス排出量を削減(抑制)することを目的に、「牧之原市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定し、取組を推進しています。計画の推進に当たっては、エコアクション 21 のプログラムを活用しています。

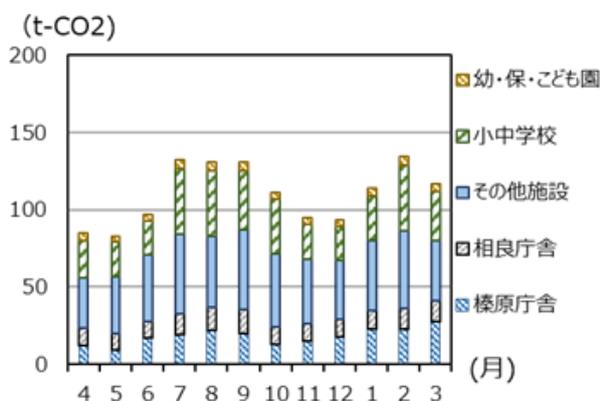
#### ◎ 二酸化炭素排出量

項目	基準	現状	目標	
	H25	R4	R4	R12
二酸化炭素の排出量(t-CO2/年)	2,424	<b>1,322</b>	1,529	1,308

年度別 二酸化炭素排出量の推移



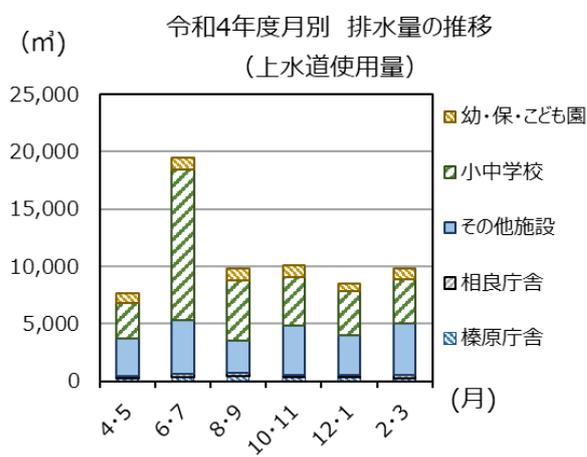
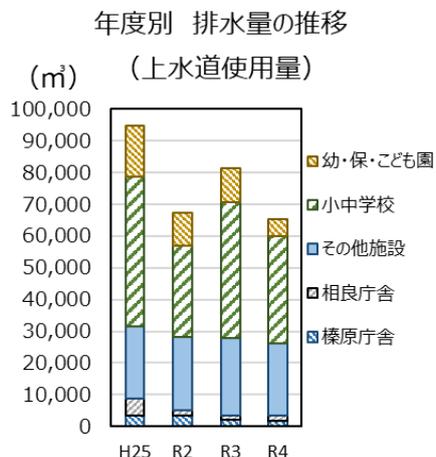
令和4年度月別 二酸化炭素排出量の推移



令和4年度の温室効果ガス排出量は基準値である平成25年度比で45.5%削減し、令和4年度の目標を達成する排出量でした。基準年以降照明や空調などの切り替え・導入時に省エネ性能の高い設備を選択したこと、日頃から職員の省エネ行動により削減を進めるとともに、令和2年7月から購入電力の一部をCO2フリー電力に切り替えたことも目標達成の要因となっています。(令和4年度は747,476kWhのCO2フリー電力を購入し、290,021kg-CO2削減しました)。引き続き温室効果ガス排出量の削減に向けた取組・行動を進めてまいります。

#### ◎ 総排水量

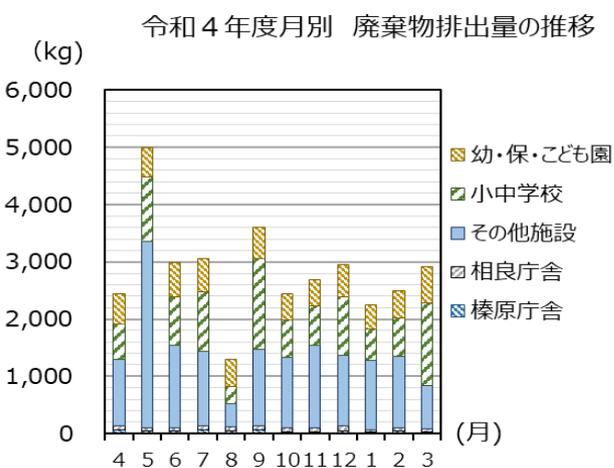
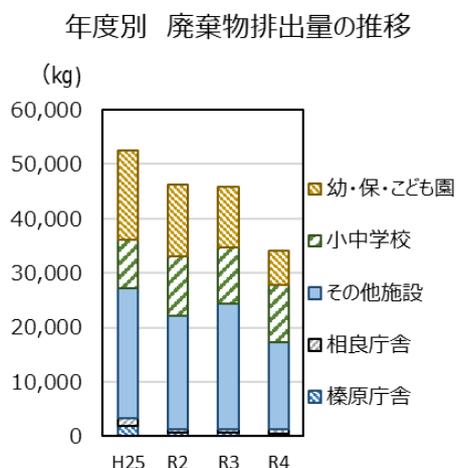
項目	基準	現状	目標	
	H25	R4	R4	R12
総排水量 (m <sup>3</sup> /年)	94,471	<b>65,240</b>	85,541	70,853



令和4年度の総排水量(上水道使用量)は基準値である平成25年度比で30.9%削減し、令和4年度及び最終目標を達成する総排水量でした。また昨年度と比較すると19.8%削減しました。昨年度と比較して削減した要因は、漏水修繕等による改善(細江小学校・勝間田小学校・油田の里公園:9,045 m<sup>3</sup>)及び保育園3園の民営化に伴い対象施設から除外した(4,490 m<sup>3</sup>)ことです。引き続き、節水に心がけるとともに雨水利用施設の導入、漏水の確認・対応実施し、総排水量削減に向けた取組・行動を進めていきます。

◎ 廃棄物排出量

項目	基準	現状	目標	
	H25	R4	R4	R12
廃棄物排出量(kg/年)	52,567	<b>34,111</b>	44,915	39,452



令和4年度の廃棄物排出量(焼却処分等リサイクルしていない廃棄物量)は基準値である平成25年度比で35.1%削減した廃棄物排出量でした。主な削減要因としては2点あります。1点目は令和4年度から保育園3園が民営化されたことで算定上約4,400kg削減され、2点目は給食残渣約15,000kgをバイオガス発電施設の原料としてリサイクルしたことによる削減が要因となっています。また、各部署単位で昨年度と比較すると多くの部署で廃棄物排出量の削減がされています。引き続き廃棄物排出量の削減に向けた取組・行動を進めていきます。

